

それぞれの地区の特性を活かした『地区別計画』 12月に各地区で確定予定!!



地域福祉保健計画とは

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、区民の皆さん、活動団体、行政等が協力して、地域の中でお互いに支えあえる関係の充実を目指し、地域をみんなでより良くしていくための計画です。

第3期港南区地域福祉保健計画は、平成28年度から平成32年度までの5か年の計画で、区全体の課題に対する取組を示す「区計画」と、地区ごとの特性に合わせた取組を示す「地区別計画」があります。今回は、「地区別計画」の検討の様子などを紹介します。



地域福祉保健計画の概念図

【横浜市地域福祉保健計画】

- 市としての基本理念や方向性を示す
- 区の実施の支援策等

港南区地域福祉保健計画

区計画

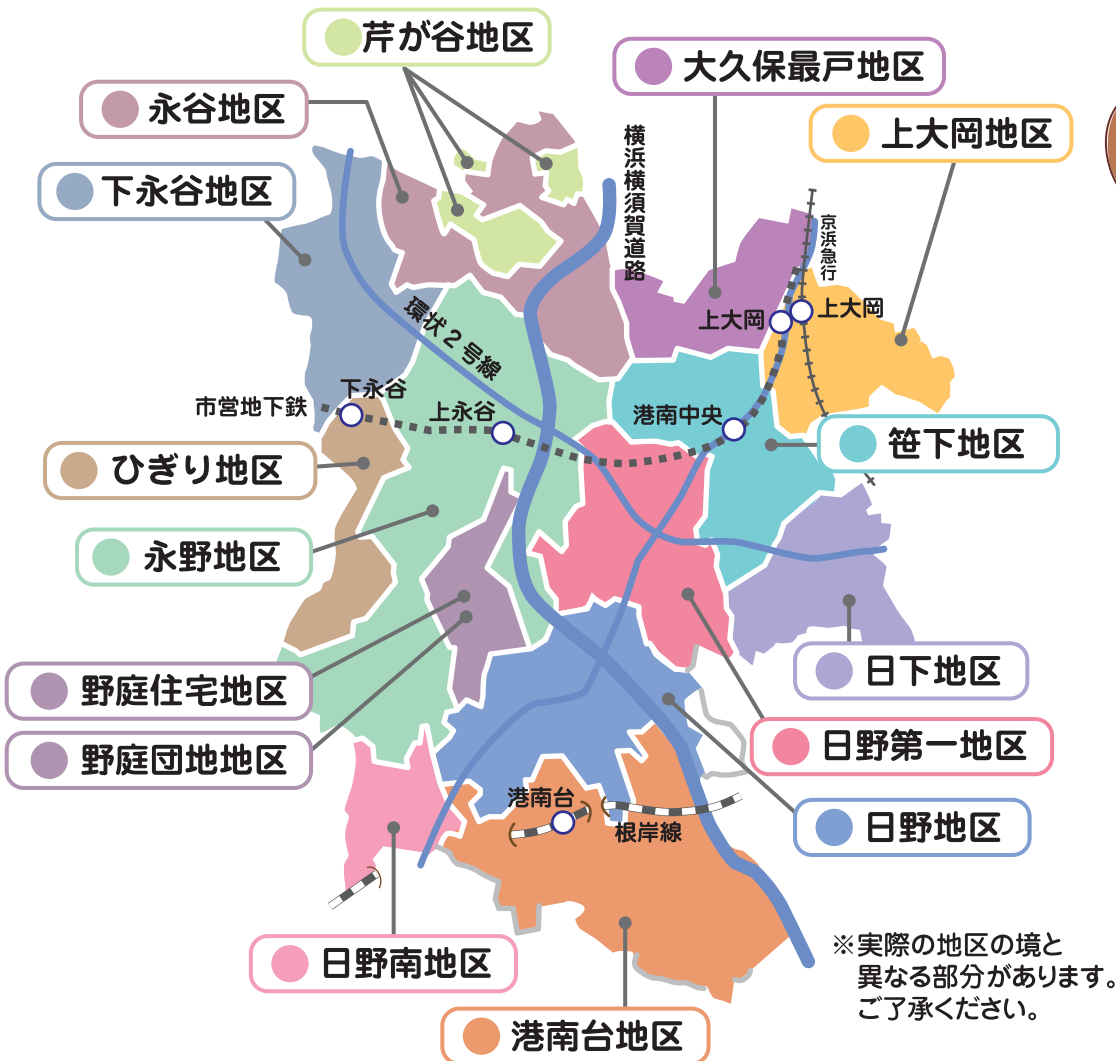
区全体の課題を踏まえた取組内容を示す

区民意見募集などで頂いた皆さんの声をもとに策定。(前号で紹介)

地区別計画

地区ごとの特性や課題を踏まえた取組内容を示す

今回、検討の様子などを紹介します。



地区別計画は、港南区内に15ある連合町内会・地区社会福祉協議会のエリアごとに、地区の特性を取り入れながら策定する計画です。

上大岡地区



「みんなで上大岡を考える会」で100名近くの多くの方で意見交換した内容をもとに、各町内会・自治会・委嘱委員等が出した意見を計画に取り入れました。

大久保最戸地区



5月に策定のキックオフ集会を開催。3つの目標に沿って5自治会町内会とエリア内にある学校の先生も加わり5年間の取組を考えました。

菅下地区



意見交換会でのみなさんからの意見をもとに、「ふるさと・菅下」を目指し、具体的な取組を計画に盛り込みました。

日下地区



「ひした未来カフェ」を開催し、様々な世代が“こんな地域にしたい”という思いを語り合う場で、多くの方の意見を計画に取り入れました。

